

2024年2月15日

各位

会社名 トレンドマイクロ株式会社
代表者名 代表取締役社長 エバ・チェン
(コード番号4704 東証プライム)
問合せ先 代表取締役副社長 CFO マヘンドラ・ネギ
(TEL. 03-4330-7600)

剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、2024年2月15日開催の取締役会において、下記のとおり2023年12月31日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、本件につきましては、2024年3月28日開催予定の第35期定時株主総会の決議を条件としております。

記

1. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2022年12月期)
基準日	2023年12月31日	同左	2022年12月31日
1株当たり配当金	738円00銭 (普通配当 56円00銭) (特別配当 682円00銭)	未定	151円00銭 (普通配当 151円00銭)
配当金の総額	100,117百万円	—	21,012百万円
効力発生日	2024年3月29日	—	2023年3月29日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 理由

かねてより当社は保有キャッシュ水準の適切化を図ることを検討してまいりました。当社グループが現在株主還元できうる最大限度額は約1,400億円であろうとの判断に至り、この額を早期に還元いたします。そして、還元手法については、2023年12月期の期末配当と2024年12月期に行う予定の自己株式取得40,000百万円との組み合わせを通じて行います。

2023年12月期の期末配当においては、通常の普通配当金(配当性向70%)である7,596百万円(一株あたり56円)と、一時的な特別配当金92,520百万円(一株あたり682円)とを併せ、合計100,117百万円(一株あたり738円)の配当といたします。

次期以降につきましては、事業成長に必要な投資をしたうえで発生する純利益について内部留保することなく全額還元することを基本方針といたします。

2024年に支払う予定の大幅な株主還元後も最低必要額を上回るキャッシュが増加していくことになるため、株主還元やM&Aを通じて資本効率を高めることを優先してまいります。当社グループはグローバルでビジネスを展開する関係で連結子会社の純利益を即時に親会社である当社の分配可能利益とさせることは困難な場合がありますが、その期に発生する子会社の純利益全額を、基本的に全ての連結子会社から毎年親会社である当社への配当金として速やかに集め、当社単体純利益を増加させることを通じて分配可能額を増加させるようにいたします。そして、その期の当社単体の分配可能額全額をその期の期末配当や翌期の自己株式取得を通じて、翌年に全て還元する方針といたします。

なお、毎期の還元額につき従来の配当性向 70%の配当額を維持する目標です。しかしながら上述の理由により配当性向 70%に達しない期が発生する可能性があります。

(参考) 年間配当の推移

基準日	1株当たり配当金(円)		
	中間期末	期末	年間
当期 (2023年12月期)	0	738円 (普通配当 56円) (特別配当 682円)	738円 (普通配当 56円) (特別配当 682円)
前期実績 (2022年12月期)	0	151円 (普通配当 151円)	151円 (普通配当 151円)
前々期実績 (2021年12月期)	0	195円 (普通配当 195円)	195円 (普通配当 195円)

以上